※排出禁止=家庭ごみ・剪定くず・土砂など

8月10日\*で

第 13

る取り組みを参考にしてくだ

申し込み方法

8月10日水(消印有効)

ま

【提出物】日本語で書かれた

e.jp <

seisaku@city.matsuyama.ehim

基本計画やまちづくりに関す

※「第5次松山市総合計画」

応募点数に制限はありませ

部)を、〒798571企画政

(直接または郵送の場合は2

策課(市役所本館5階)・🖭

グループでの応募もでき、

(市ホームページに掲載)の

生活に関する内容で、アイデ

で、居住地や年齢に制限はあ 専門学校などに籍を置く学生

魅力あるまちづくりや市民

大学、大学院、

短期大学、

感性で、魅力あるまちづくりにつなげてみませんか。 - 学生による政策論文」として募集中。皆さんの若き

学生を対象に、まちづくりなどへのアイデアや意見を

若き感性で魅力ある松山に

1

度の要約文▼表紙(テー 文本文の前に、200字程 3000字を超えても可▼論

名、テーマ分野、

応募

動機〈何を見て応募し

資料に基づくものまで幅広い ア的なものから詳しい調査や

りません。

クス、

eメールで次の提出物 直接または郵送、

でに、

ファ

テーマで募集します。

手で美しく」を合言葉に実施する市民「わたしたちのまちは、わたしたちの う清掃活動への参加をお願いします。 大清掃。さらに美しいまち松山になるよ

【日時】7月10日田7~9時▼小雨決行、 実施の有無は、当日の南海放送ラジオ 天中止、順延なし

お知らせします 【内容】 自宅周辺や公共 場所などの清掃活動



(6時10分と35分ころ)

いますか。6月から、パスポートの申請から受け取りま

海外旅行時に必要な「パスポート」、ご準備はできて

受け取り

H

「短縮に!

## パスポートセンター ポート申請と受け取りは、 での日数が1日短くなりました。必要に応じて、お早 本市にお住まいの人のパス めの手続きをお願いします。

(第36回

可燃ごみ

2種類に分別

各地区の決められた

場所・時間に排出

びんかん

お問い合わせは、環境事業推進課☎948-6434・222934-1861へ

申請から受け取りまでの標準的期間	
申請曜日	受取予定日
月曜日	金曜日
火曜日	土曜日
水曜日	翌週火曜日
木曜日	翌週水曜日
金曜日	翌週木曜日
土·日曜日	金曜日

したが、今後は標準7日 (最短5日) 目からの受

2階) で土・日・祝日も行っ ています。 ラン松山別棟 〈宮西一丁 直

3 日

(フジグ

市

の受け取りとなっていま 8日 (最短6日) これまで申請後、 Ħ 「から

**【定休日】**12月29日~翌1月 [利用時間] 9~18時 申請・受け取り期間



自分で丸めるもちには感謝の気持ちが入ります

け取りとなります。 (上表参

と、お渡しまでの日数が延び ※その期間に祝日などがある

925 999680 トセンターな883330・一本問い合わせは、市パスポ



住民を説得し、

飼うことがで

ながる心の絆

## 年月日、年齢、性別、学科、学年、氏名、生 ドレスを記入) 電話番号、eメールア 住所、電話番号、 たか〉、学校名、学部、

# テーションの実施審査・プレゼン

10月下旬に、

予定。 文を選定し、審査員の質問 第1次審査で15点程度の論

審査会を開催

の回答や、 オなどの方法により審査 ※参加できない場合は、ビデ 方・思いを発表してもらいま 論文に対する考え

(パソコンなどの使用可)。 2000~3000字の論文

書ききれない場合、

## 賞・結果発表

ます。

5年生の総合的な学習

ーチ

レンジ!米作り

地域

点以内(3万円相当の賞品) 相当の賞品)▼アイデア賞2 品)▼佳作2点以内(3万円 賞2点以内(5万円相当の賞 (10万円相当の賞品) ▼優秀 【結果発表】11月下旬 (予定 【賞】最優秀賞1点以

## その他

※表紙の様式は市ホ

ムページにあります

属し、広く公表される場合が ※応募論文は返却しませ あります。 入賞論文の著作権は市に帰

課☆486816・2341804へ

## 拾った子どもが、犬を飼えな たいと自治会長を通して近隣 ていた犬です。 の石像が出迎えてくれます。 杉と、目の見えない犬「ダン」 い規則のある団地で世話をし ダンは小さい時に捨てられ 潮見小学校の校門をくぐる 校舎よりも高く育った糸 そのダンを 10回 男372人・女314人・計686人 (平成23年5月1日現在)

よって長く続いている活動 一つです。 人とのつながりや協力に

と

米でもちつきをし、全校児童 もたちの手で行っていきます。草取り、稲刈り、脱穀を子ど や地域の人に配ります。 人の田んぼを借りての田植え、 3学期には、収穫したもち 苗床へのもみまき、地域の

## がりはとても強いものがあり に、地域と子どもたちのつな になり、小学生の道徳の副読 この話に代表されるよう 手助けがあってこそ活動を続 けることができることを実感 力だけではなく、地域の人の し、感謝の気持ちをより強く しています。 子どもたちは、 自分たちの

本にも使われました。

きるようになった話で、

てくださるのは、地域の人と りともちつきの楽しみを支え の温かい心のつながりです。 毎年5年生で体験する米作

# 山つ子の

していたと知って、本当に使わず田植えや稲刈りを 大変だなと思いました。 昔の農家の人は、機械を

の学年の人に届けたらす もちを、地域の人やほか ごく喜んでくれたのでよ かったです。 (5年生女子) つきたてのおいしいお (5年生男子)

